



**2026年 2 月期
第 1 四半期決算説明資料**

2025年 7 月11日

株式会社ツインバード 証券コード： 6897

2026年 2 月期 第 1 四半期決算 ハイライト

主要な商品カテゴリーの一つである家庭用冷凍冷蔵庫や洗濯機は、個人消費低迷や新生活における消費行動の多様化に加え、市場競争激化により売上が減少。利益面は上記の市場背景による売上総利益の減少や原価において前年同期に比べより円安の影響を受けたことなどにより、前年同期より減益

売上高

20.3億円
(前年同期比 △7.2%)

四半期純利益

△3.6億円
(前年同期比 △2.4億円)

売上総利益率

22.1%
(前年同期比 △5.1pt)

家電製品事業
セグメント利益*

△1.4億円
(前年同期比 △1.7億円)

営業利益

△3.5億円
(前年同期比 △1.6億円)

FPSC※事業
セグメント利益*

△0.1億円
(前年同期比 △0.1億円)

経常利益

△3.6億円
(前年同期比 △1.9億円)

自己資本比率

66.9%
(前期末比 △4.3pt)

※FPSC：フリー・ピストン・スターリング・クーラー *調整額（全社費用 1.9億円）を除外

目次

1. 2026年2月期 第1四半期決算概要

2. 2026年2月期 通期業績予想

補足資料：四半期別業績数値

目次

1. 2026年2月期 第1四半期決算概要

2. 2026年2月期 通期業績予想

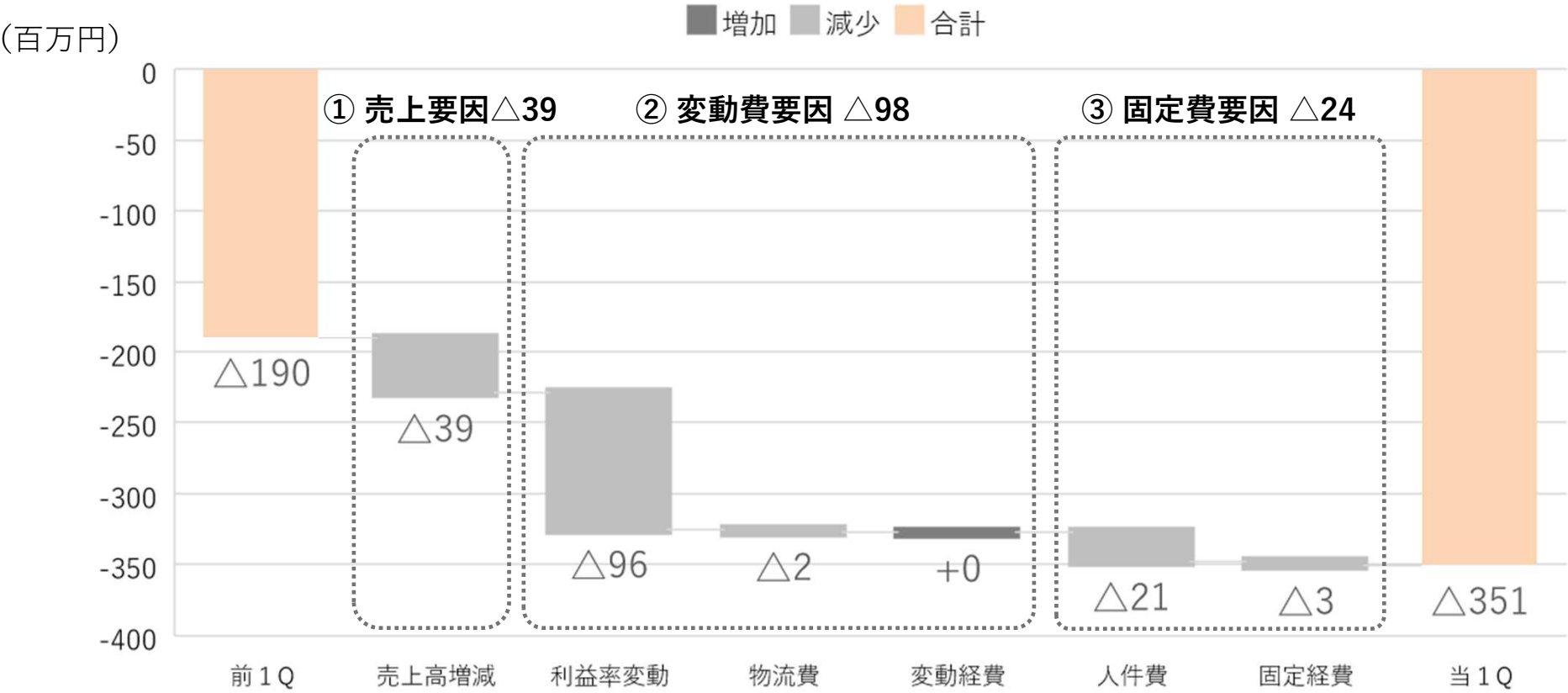
補足資料：四半期別業績数値

2026年 2 月期 第 1 四半期 損益概況

単位：百万円	2025年度	2024年度			(参考)
	1Q 実績	1Q 実績	前年同期比 差額	増減率	2025年度 通期 業績予想
売上高	2,037	2,196	△159	-7.2%	10,500
売上総利益	449	597	△147	-24.7%	
売上高比	22.1%	27.2%	-5.1pt		
販売費及び一般管理費	801	787	14	1.9%	
売上高比	39.4%	35.8%	3.5pt		
営業利益又は営業損失（△）	△351	△190	△161	-	150
売上高比	-17.3%	-8.6%	-		1.4%
経常利益又は経常損失（△）	△360	△166	△194	-	120
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△360	△117	△243	-	100

2026年 2 月期 第 1 四半期 営業利益：前年同期比増減の要因分析

売上高の減収影響に加え、円安による原価高騰や市場競争激化等による売上総利益率の低下により、営業損失が増加

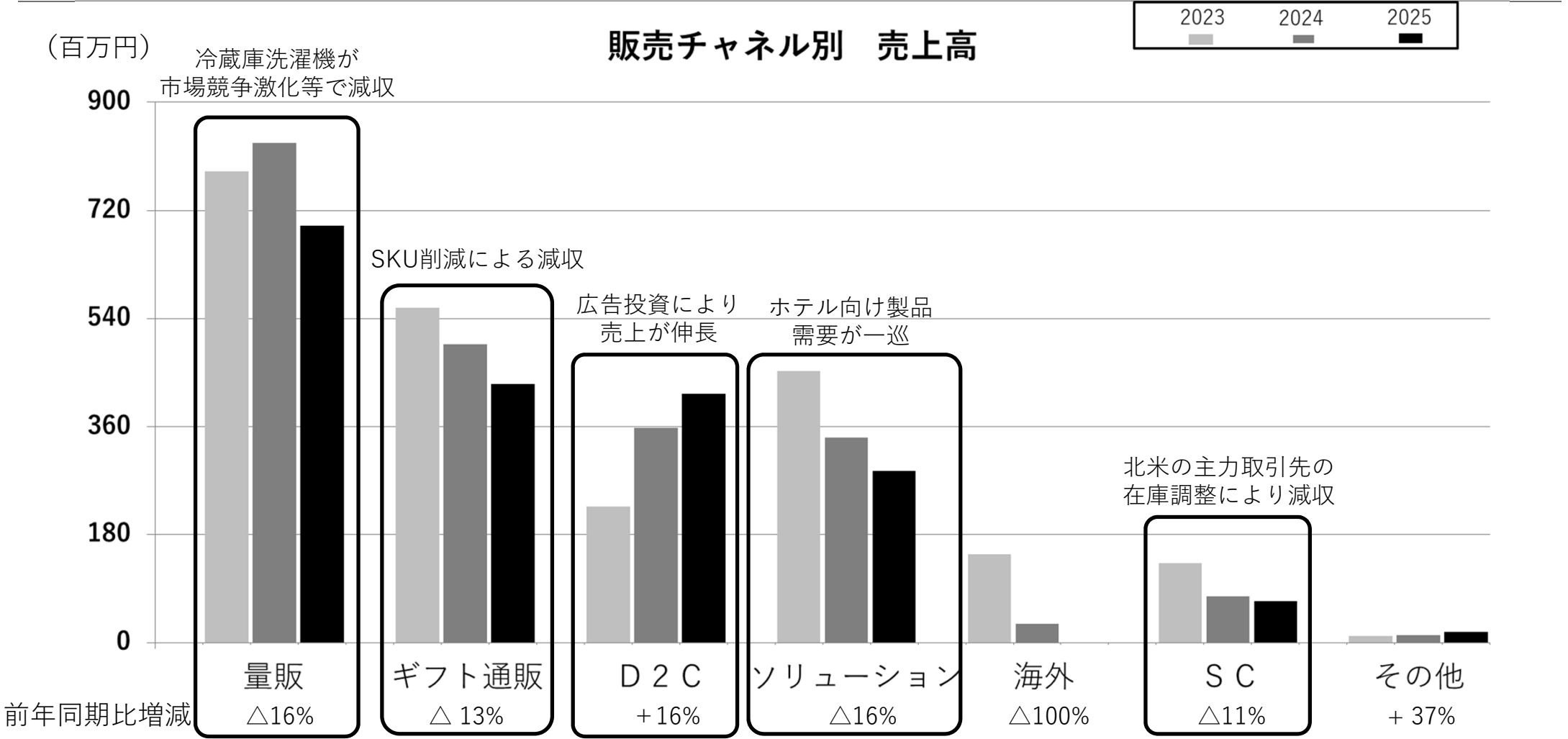


2026年 2 月期 第 1 四半期 セグメント別業績概況

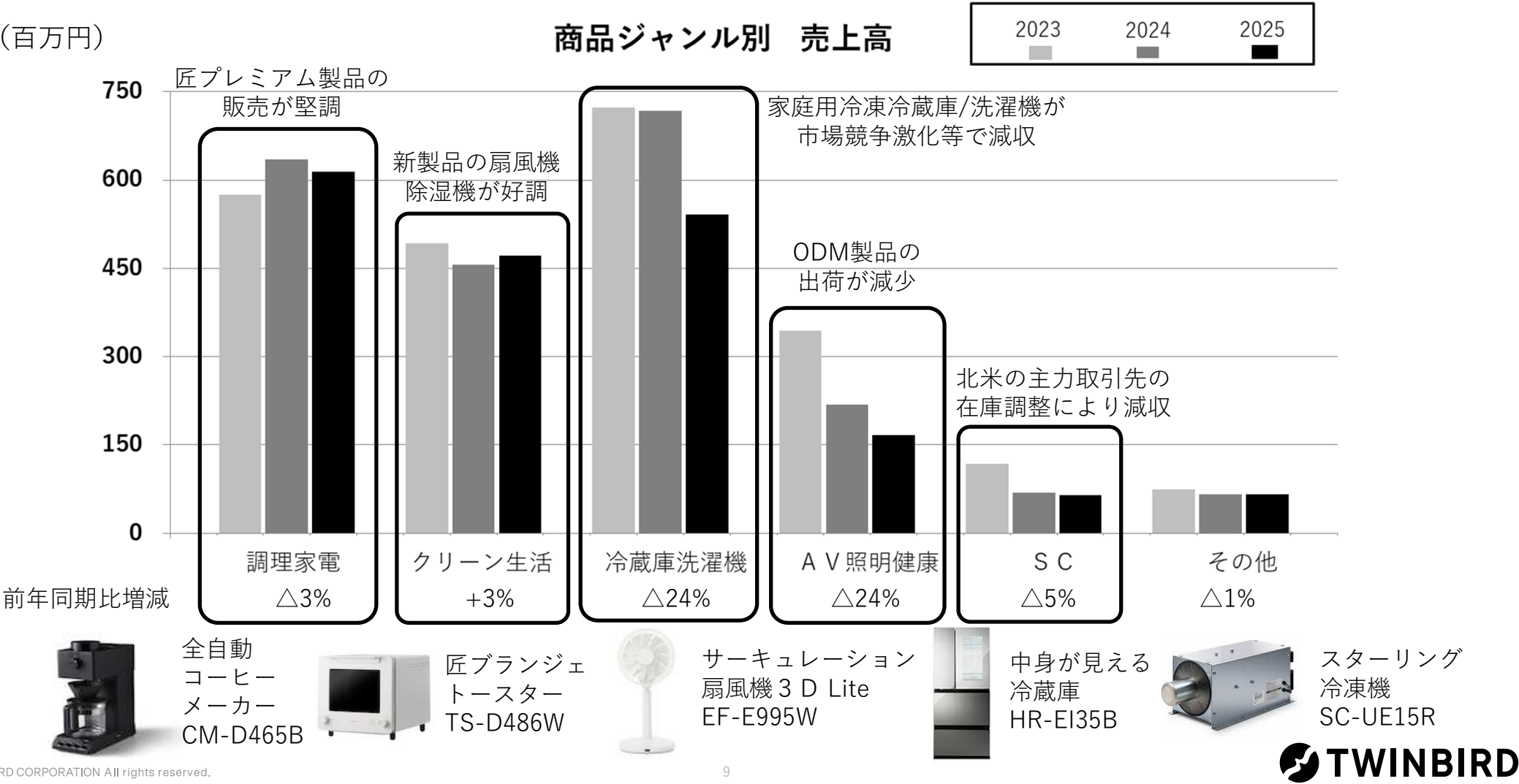
- 家電製品事業は、主要な商品カテゴリーの一つである家庭用冷凍冷蔵庫や洗濯機が個人消費低迷や新生活における消費行動の多様化に加え、市場競争激化により売上が減少 利益面は上記の市場背景による売上総利益の減少や原価において前年同期に比べより円安の影響を受けたことなどにより、前年同期より減益
- FPSC事業は、北米の主力取引先の在庫調整により、前年同期より減収減益

単位：百万円	売上高				セグメント利益（営業利益）			
	2025年度 実績	2024年度 実績	前期比 差額	成長率	2025年度 実績	2024年度 実績	前期比 差額	成長率
家電製品事業 売上高比	1,967	2,113	△145	△6.9%	△144 -	30 1.4%	△174 -	-
FPSC事業 売上高比	69	83	△13	△16.4%	△13 -	3 3.8%	△16 -	-
調整額					△194	△223	29	
全社 計 売上高比	2,037	2,196	△159	△7.2%	△351 △17.3%	△190 △8.6%	△161 -8.6pt	-

2026年 2 月期 第 1 四半期 販売チャネル別 売上高の推移



2026年 2 月期 第 1 四半期 商品ジャンル別 売上高の推移



2026年 2 月期 第 1 四半期末 貸借対照表

単位：百万円	2025年度 1 Q末	2024年度 前期末	増減		2025年度 1 Q末	2024年度 前期末	増減
現預金	1,049	610	438	仕入債務	221	189	31
売上債権	1,132	1,966	△834	短期借入金	1,000	1,500	△500
棚卸資産	3,592	3,139	453	長期借入金	1,162	460	702
その他	223	370	△146	その他	1,173	975	198
流動資産 計	5,998	6,087	△89	負債 合計	3,557	3,124	432
有形固定資産	3,547	3,572	△25	資本金・資本剰余金	5,149	5,149	-
無形固定資産	636	676	△40	利益剰余金	2,180	2,649	△469
投資その他資産	571	530	40	その他	△132	△56	△76
固定資産 計	4,755	4,780	△24	純資産合計	7,197	7,743	△546
資産 合計	10,754	10,868	△113	負債 & 純資産合計	10,754	10,868	△113
				自己資本比率	66.9%	71.2%	△4.3pt

目次

1. 2026年2月期 第1四半期決算概要

2. 2026年2月期 通期業績予想

補足資料：四半期別業績数値

2026年 2 月期 通期業績予想（2025年 4 月14日公表値から変更なし）

- 「収益構造の再構築」「固定費・変動費の最適化」「成長事業の推進」に取り組んでおり、その具体的な収益改善施策の効果は第 2 四半期以降に業績へ寄与することを計画しております。
- 家電製品事業
 - 需要が急増している精米器及び炊飯ジャーにおいては、精米器の供給体制を速やかに増強することで、当第 2 Qで前年同期比約 4 倍の約2.2億円超、通期では前年同期比約 5 億円の増収を見込む
 - 「匠プレミアム」シリーズの新製品並びに安定的な収益が見込めるギフトチャネル向け新製品投入を予定
 - 伴走型の全社バリューチェーンによる開発効率の大幅改善により、プライベートブランド製品などのODM（相手先ブランドによる開発設計製造）製品を含む新製品の投入を加速し、通期では金額ベースで前年比 2 倍以上の約13億円超の新製品の売上を見込む
 - 約10%以上の価格改定の効果が当第 2 Q以降に寄与することにより、利益の改善を見込む
 - 国内製造回帰50%の実現に向け順次生産移管などを進めており、7 月には精米器の国内製造を開始予定
 - FPSC事業は、世界保健機関(WHO)が定める医療機材品質認証(PQS：Performance, Quality and Safety)を活かし、アフリカ開発会議(TICAD、横浜8月)、分析機器展示会(JASIS、東京9月)、国際医療機器見本市(MEDICA、ドイツ11月)への出展や国内外の医療機器流通各社を通じた営業活動、また、経済産業省支援の新規輸出 1 万者プログラムを通じて、さらなる販売活動の強化を推進

単位：百万円	2025年度	2024年度		
	通期 業績予想	通期 実績	前期比 差額	増減率
売上高	10,500	10,056	443	4.4%
営業利益	150	4	145	－
売上高比	1.4%	0.0%	1.4pt	
経常利益	120	42	77	180.4%
当期純利益	100	△101	201	－

目次

1. 2026年2月期 第1四半期決算概要

2. 2026年2月期 通期業績予想

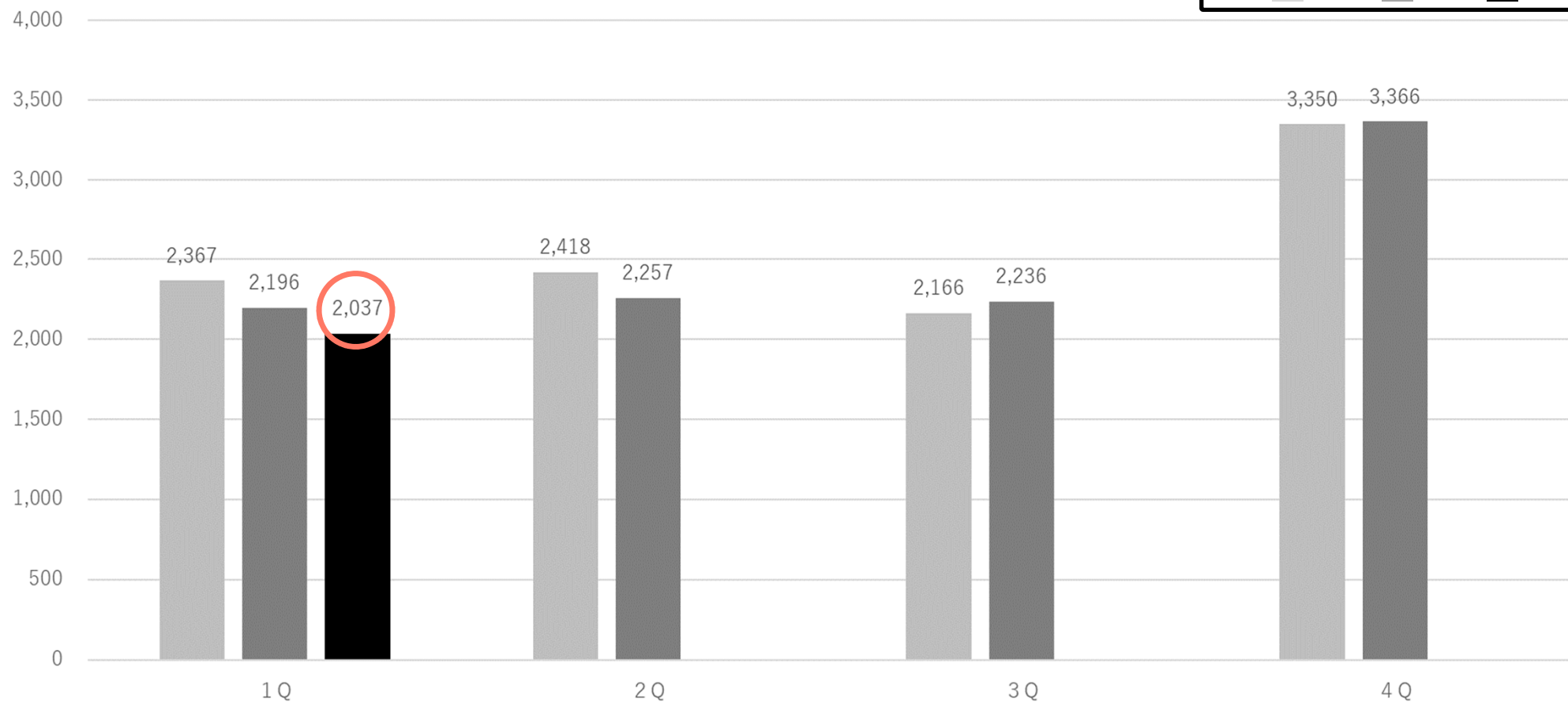
補足資料：四半期別業績数値

四半期別業績数値 純売上高

(百万円)

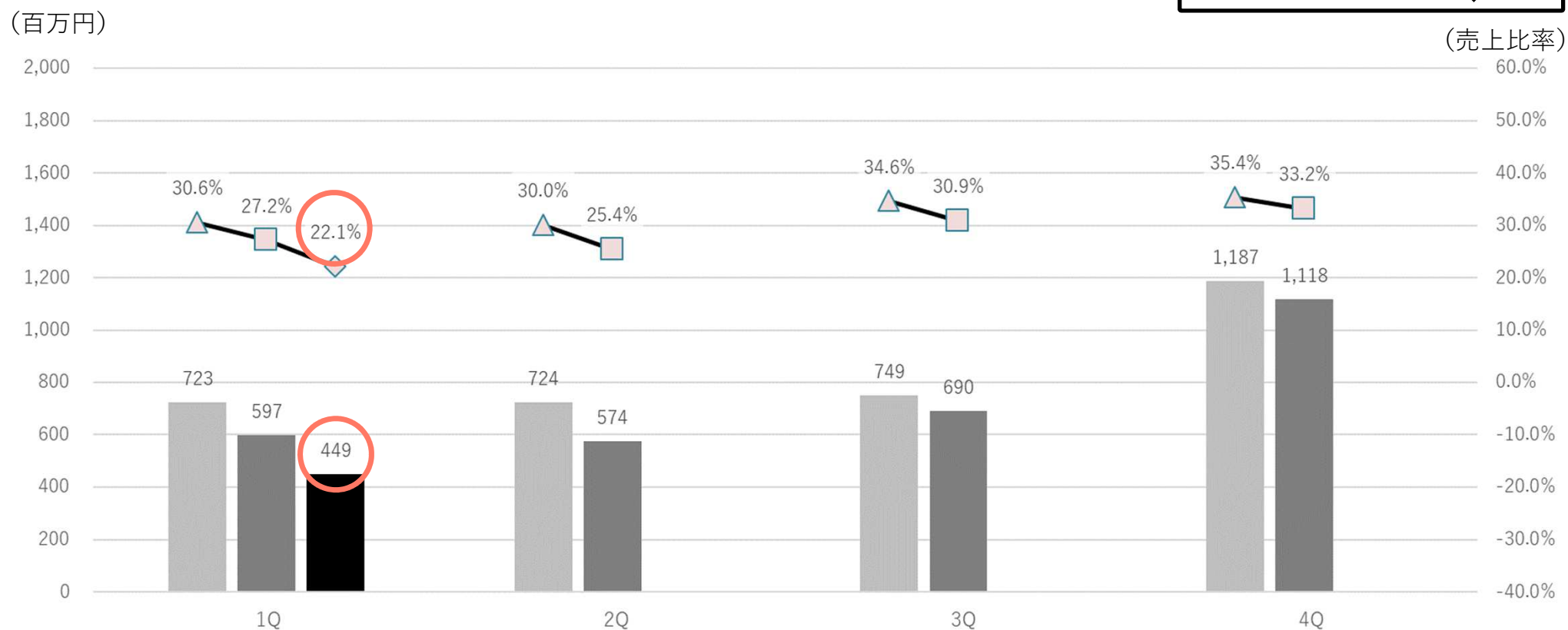
四半期別比較＜純売上高＞

前々期 前期 当期



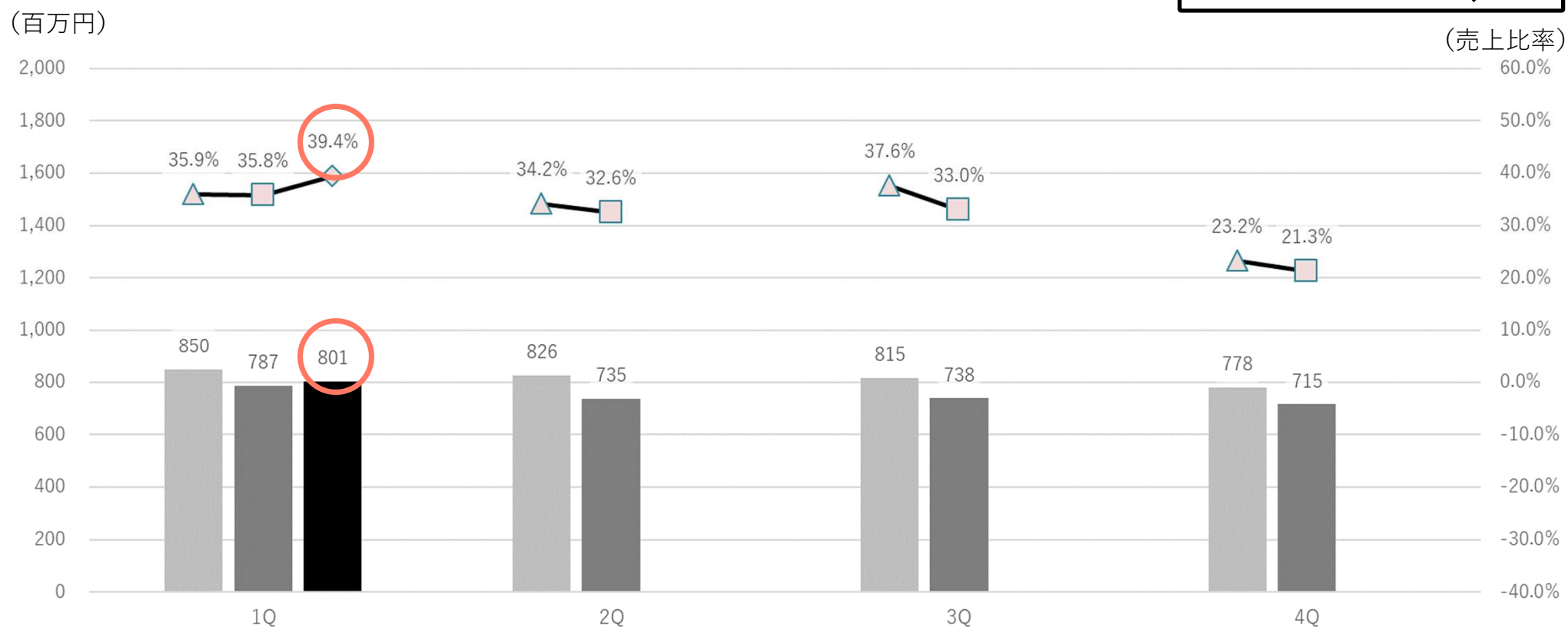
四半期別業績数値 売上総利益

四半期別比較＜売上総利益＞



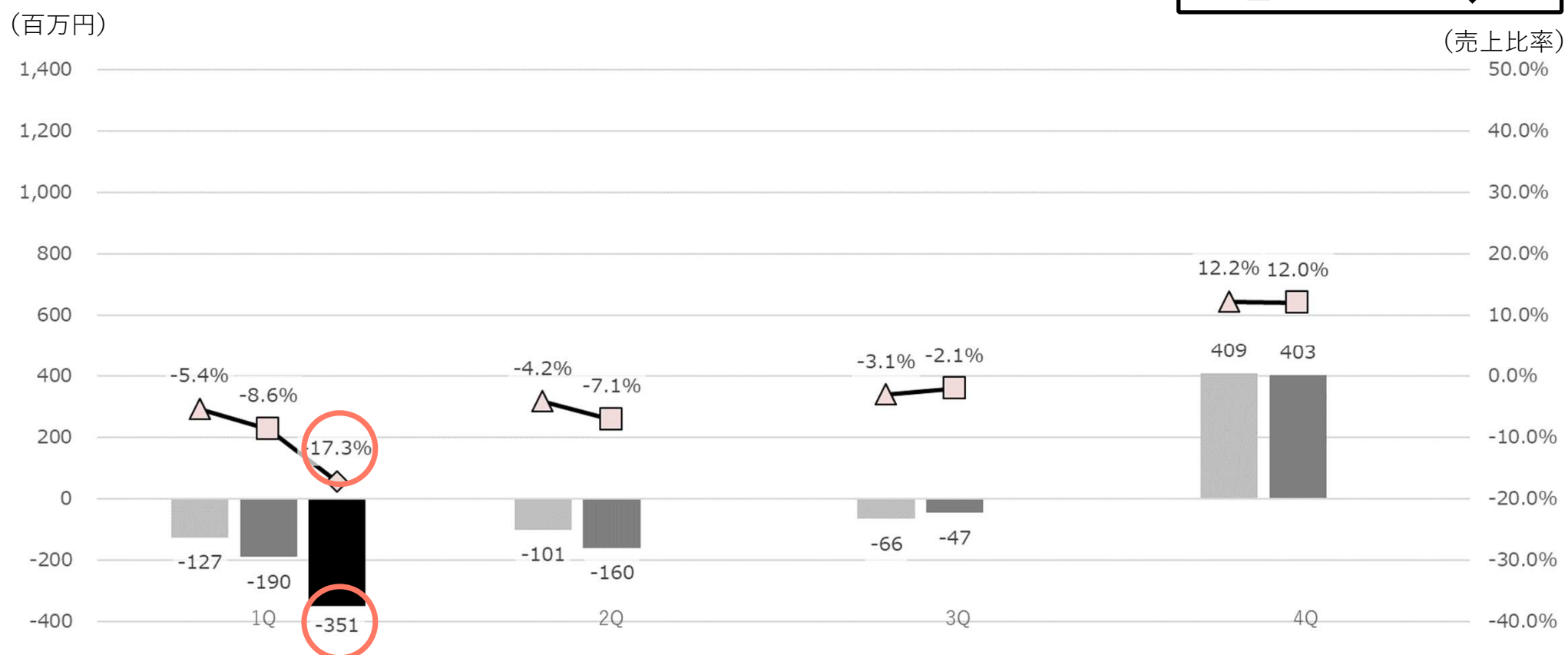
四半期別業績数値 販売費及び一般管理費

四半期別比較＜販売費及び一般管理費＞



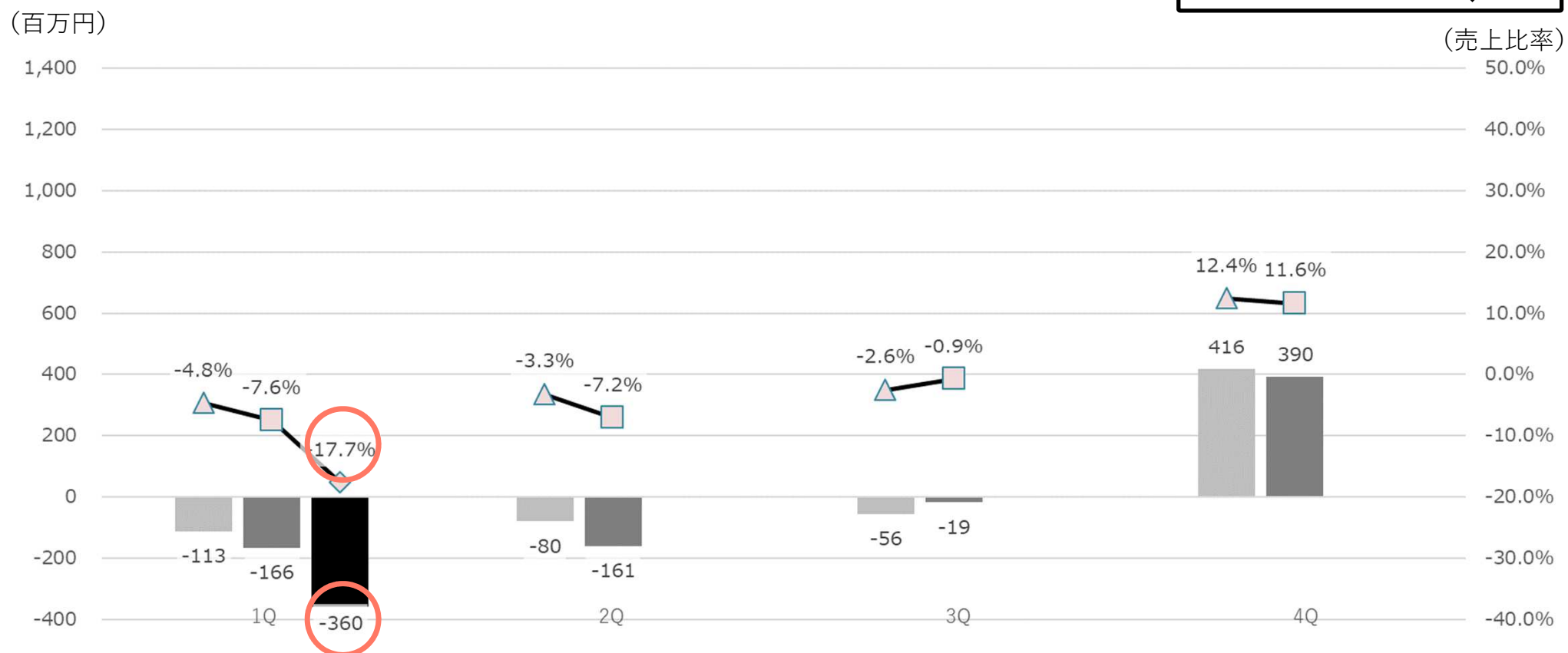
四半期別業績数値 営業利益

四半期別比較＜営業利益＞



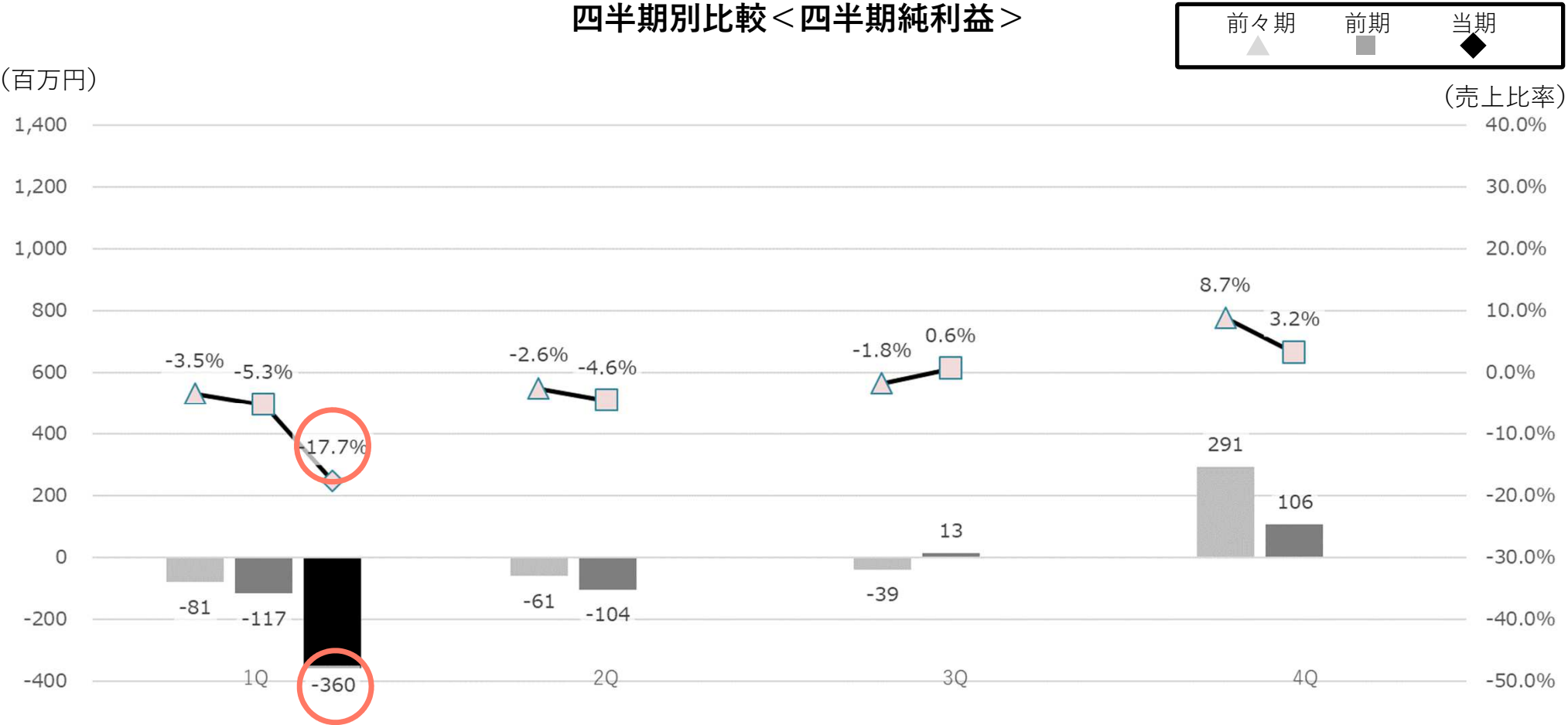
四半期別業績数値 経常利益

四半期別比較＜経常利益＞



四半期別業績数値 四半期純利益

四半期別比較＜四半期純利益＞





I R ・ 決算に関するお問い合わせ先

株式会社ツインバード 取締役最高財務責任者 企画管理本部 本部長 渡邊 桂三 (TEL : 0256-92-6111)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する意見や予測等は、資料作成時点で一般に認識されている経済・社会等の情勢及び、当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されており、その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更される可能性があります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。